

後援会からのお知らせ

令和4年度の後援会会計報告を下記のようにまとめましたので、ご報告いたします。今年もご協力で御礼申し上げます。この後援会の会費振替と同時に多額の寄付金も振り込まれました。ありがとうございました。

創和 後援会 収支報告
令和3年4月1日～令和4年3月31日

2022年度も多くの方々から協力をいただき、ありがとうございました。この間に18名(271)の方々から、後援会会費をいただき、下記のように集計できましたのでご報告いたします。

尚、後援会費とは別に、多くの方々から寄付金もいただき、感謝しております。皆様のご協力により、創和も大きく育ちました。今後も皆様の期待にお応えできるよう、一層の努力をまいりますので、本年度も皆様の温かいご協力をお願い申し上げます。

収入の部

科目	金額	備考
後援会費収入	54,000円	
銀行金利他	0円	
前期末繰入金	58,676円	
合計	112,676円	

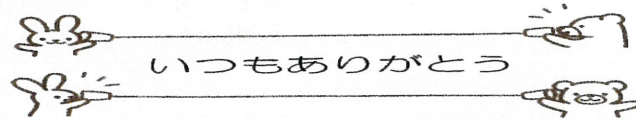
支出の部

科目	金額	備考
振込み手数料	5,700円	
会費分法人へ寄付	49,000円	
次期繰越金	57,976円	次期繰越金の経費として繰り越します。
合計	112,676円	

令和5年5月1日

社会福祉法人創和 後援会 事務局

編集後記
令和5年度も始まり約2か月経ちました。職員の異動もあり、法人内の各施設・事業所では新体制となつて新しい日々を送っています。慣れ親しんだ環境が変わりましたが、職員一同、メンバーに不安以上に新生活のわくわくを感じてもらえるような支援を計画し・実現していきたいと考えております。



後援会費及び一般寄付のご報告

** 皆様の温かいご協力に感謝いたします
大切に使用させていただきます **
令和4年12月26日～令和5年4月25日
この間に11名の方と病院、企業様からの寄付金・後援会費などで、3,283,000円、他に多数の方々から寄付品等のご協力をいただきました。ご協力いただいた方々のお名前を掲載させていただきます。

* 米内山由紀江、村田恵三、西久保紀子、田之脇文字、平井弘子、山岡信幸、古谷野秋子、鈴木正敏、大淵優香、斎藤美恵子、狭山ヶ丘病院、(株)磯野商会 (順不同、敬称略)

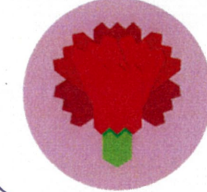
一 寄付金を募集しています

** 寄付金など、常時募集していますので、皆様の温かいご援助をお願いします **
後援会・寄付の振込先口座：ゆうちょ銀行
00160-2-591708

他銀行からの振込：ゆうちょ銀行 ゼロイチキョウ店
当座預金 0591708
銀行振込は、埼玉りそな銀行 入間支店 普通口座
4005748

(シャカイフクシホウジンソウワリジチョウイワサキヒロシ)
寄付金は税金控除の対象になりますので、寄付の際は領収書をご請求してください。

創和 社会福祉法人創和 創和便り



和を創りだす共同体

こころの病を 経験した人も してない人も
ともにたまものを 分かち合い 幸福と尊厳を とり戻そう

個人もすごいけどチームもすごい
理事長 岩崎廣司

サッカーの勢いでベースボール WBC は14年ぶりに米国を破って世界一を奪還!

中でも大谷選手は世界中から称賛され、ベースボールを知らない人にも関心がもたれ記事にならない日が無い状態が続いています。

今回の日本のメンバーには栗山英樹監督が日の丸を背負う初の国外選手となるラズ・ヌートバー外野手を選び試合でトップ打者に指名したことは、当初巷ではなんで?と話題に上がったものでした。結果は機転の利いたプレーで魅せ、そしてパフォーマンスであったという間に茶の間の話題に上がりました。

チームは勢いに乗り、個人ですごい選手がチームにいとさらに才能を開花させ、少ない場面でも活躍してあつという間に予選勝ち進み、マイアミへ飛び立ち全勝で世界一を勝ち取りました。

目的を達成する時にグループを組むと成功する才能が多い選手を選定して、勝ち抜く集団になったのではないかと思います。

仕事をして必ず成功する方程式はありません。勢いが良くない時は受け身の対応が必要となります。勢いだけでうまくいくことはありません。選手にトラブルがあったときには代わりに対応できる人材を検討しておくことも、今回の日本の対策が成功に導いた侍ジャパンの勝因になっていました。

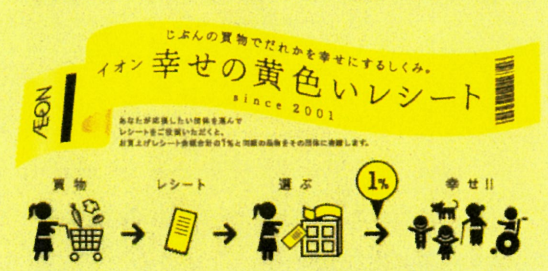
一方で、新型コロナウイルスの感染が沈静して国が指導してきた各種規制からマスク着用は個人の判断が基本となりました。

法人もこれから新たな対応求められています。コロナ前の昔の状態に戻るのではなく非常時のいろいろな経験を生かしてこれからは「個人もすごいけどチームもすごい」ワンチームとなって新たな目標に向かって活動していきましょう。

こんなBOSSはヤダ! No.64 今#051



毎月11日のイオン・デーは、幸せの黄色いレシートの日。



今年度より社会福祉法人創和は、イオン入間店に団体登録しております。

毎月11日にイオン入間店でお買い物の際は、是非「創和」のボックスレシートの投函のご協力をお願い致します。

社会福祉法人 創和の事業

- ・就労継続支援 B 型事業所 創和ユニット 入間市久保稲荷 1-27-4 TEL/FAX 04-2963-3927 厨房 TEL 04-2946-7855
- ・就労継続支援 B 型事業所 満天工房 入間市東町 1-10-3 TEL/FAX 04-2968-7341
- ・地域活動支援センター つどい 入間市豊岡 3-8-5 あたご坂ビル 201 TEL/FAX 04-2964-2117
- ・共同生活援助事業・自立生活援助事業 東町ホーム TEL 04-2965-0370
- ・相談支援事業所 創和 入間市東町 1-10-3 TEL 04-2946-9563 FAX 04-2968-7372
- ・入間市障害者就労支援センター りぼん 入間市役所 3階 TEL 04-2964-1111 内 3202 FAX 04-2966-6791
- ・カフェ&レストラン、ゲストハウス むつみ 飯能市小久保 264-1 TEL080-7566-6671
- ・法人本部 入間市久保稲荷 1-27-4 TEL/FAX 04-2965-9978

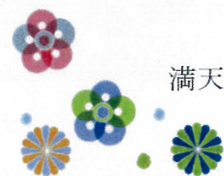
メンバーさんの作品介绍



←↑ユニット め組のひと



←ユニット メンバー



満天工房 あしな 足半ぞうり

ポムポムプリン

昨年の秋頃から足半ぞうりをつくりはじめて、今年の3月末でやっと4作品目ができあがりました。

私の作品はいつも委託品ばかり作ってて以前布ぞうりは1回だけ店頭にならびました。

満天工房ならではの体けんを心のやまいとたたかいながら、なかなかかいたいがたい持びょうですが、お客さまと体けんするのが私のゆめです。

ニックネームカフェモカしょくいんさん、ボランティアの篠原涼子さんのおかげです!!満天工房のうりは布ぞうりですが、今後の満天フリマはいつかわからないけど、夢は、お客様と体験し、それを店頭に並べる事です。



←大樹様にも満天工房の商品を置かせていただいています



最優秀賞川柳

「のこされた家族のために ACP」 南天星

ACP: Advance Care Planning (人生会議 通称) つどい 福島正司

南天星は私のペンネームです。文芸作品や文芸入間には南天星で投稿しています。

昨年の10月「人生会議」というお題で入間市主催の「人生会議川柳コンテスト」に応募したら数百首の中からの10首に選ばれ市役所内に2週間ほど展示され、一般投票の結果、見事1位の「最優秀賞」に選ばれました。

賞品として、市役所から赤色の皮のブックカバーを頂きました。

さらに入間市健康福祉センターの障がい者スポーツ大会のポスター展では投票で「第2位」に選ばれました。賞品として「布ぞうり」を頂きました。



各事業所の行事紹介



←↑むつみ初のワークショップ『河津桜を見る会』



↑ユニット お花見



↓りぼん ボーリング大会・はたらこサロン



↑満天工房 手打ちうどん作り



手づくりのオープンイロゲを目指して

創和ユニット ピアスタッフ 河合心平

近年フイランドを起源とする「オープンイロゲ」(開かれた対話)が、日本でも精神科医療でポツリポツリと取り組みが始まっています。

これまで約2年間、写真と一緒に映っている精神保健福祉士の野澤さんと共に、NPO 法人インターメディカの地域活動支援センター「あるこ」様を舞台に、手探りで手作りのオープンイロゲを目指して座談会を行ってきました。2年間で合計21回座談会を実施しました。

当初は、講義形式になってしまい、先方の利用者様との信頼関係の構築に苦労がありました。回を重ねるごとに信頼関係も深まりまた、利用者様が話しやすい環境が整いました。当事者の固有の体験に価値があり、また話すことでその場にいた当事者の気づきや発見に繋がることが伝わるようになりました。



新人紹介

清水さん

昨年9月から創和の一員となりました清水です。楽しく仕事するのがモットーです。どうぞ宜しくお願いします。



櫻田さん

昨年の10月より、満天工房で働いています。個性豊かなメンバーさんと、日々楽しく過ごしています。よろしくお祈りします!



有村さん

9年のブランクから復帰しました。仕事は未だ足手まといの存在ですが、人生で一番楽しく仕事しています。先日娘に就職祝いのペンを貰い50年振りの喜びです。よろしくお祈りします。